



水生生物の観察などを指導する自然写真家の内山山
ゆうさん（1日、紀北町海山区小山浦の銚子川で）

銚子川で生き物観察

親子21
人参加 希少種のエビやハゼ

紀北町のきほくふる
さと体験塾とNPO法
人ふるさと企画舎共催
の川ガキ養成講座「内
山りゆうさんといくゆ
らゆら帯と銚子川の生
き物編」が1日、海山
区小山浦の銚子川であ
り、紀北町や尾鷲市、
多気町、大阪府堺市な
どから小学生と保護者
9組21人が参加した。
清流銚子川の保全を
目的に昨年に続いて2

回目。講師は和歌山県
白浜町在住の自然写真
家内山りゆう（隆）さ
ん（49）。
道の駅海山で開講式
があり、ふるさと企
画舎の田上至理事長
（49）が「銚子川を
日本一の川にと頑張っ
ている。紀勢自動車道
の開通に向け紀北町が
通過点にならないよう
集客交流に貢献できれ
ば」と強調。

内山さんは「銚子川
にはアユやユカケ、
ウナギ、絶滅危惧種の
ツボハゼなどが生息。
ウナギは寿命の95%を
川で生息しモズクガニ
の巣穴に入るが、最近
はその巣穴が減ってき
ている。河口付近のゆ
らゆら帯は海水の比重
と川の真水の比重によ
って見られる」と説
明。「銚子川は世界的
にも透明度が高い。大
切にしてほしい」と呼
びかけた。

あいにくの小雨の
中、参加者は銚子川右
岸の河川敷に移動。
シュノーケルと水中眼
鏡、たも網を持ち、J
R鉄橋下の川で水中生
物を採集。子どもたち
は冷たい水に体を震わ
せながらも、川岸の草
むらをもで探りなが
ら小エビなどを見つけ
て歓声を上げていた。
2時間ほどで希少種
のヒメヌマエビやハゼ
類のヌマチチブなども
採集して小型水槽で観
察した。前日に仕掛け
たもんどり2本にウナ

ギは入っていないかつ
た。この日はゆらゆら
帯は見られなかった。
観察後は銚子川漁協が
蓄養する養殖アマゴの
塩焼きに舌鼓を打っ
た。

一昨年10月には海山公
民館の「銚子川シンポ
ジウム」で基調講演、
銚子川の貴重さを訴え
た。内山さんは「川自
慢はお国自慢になる。
清流を大切に維持して
ほしい」と話してい
た。

